

# 【事業名】屋久島における国内希少野生植物種の調査と保全計画の立案 （鹿児島県熊毛郡屋久島町） 【団体名】屋久島照葉樹林ネットワーク

令和元年度 生物多様性  
保全推進支援事業  
実績報告書別紙10－6

## 事業の背景・目的

- ・屋久島では、国立公園をはじめとした保護区域が高標高山岳地帯を中心に設定されているが、低地の照葉樹林帯は西部地域を除いて保護措置がとられておらず、わずかに残された原生林が森林開発等によって減少している。一方、このような原生林では菌従属栄養植物をはじめとした新種、固有種の発見が相次ぐなどしており、屋久島の低地照葉樹林における生物多様性保全の重要性が高まっている。
- ・本事業では、低地照葉樹林における国内希少種及びその候補種について分布状況調査等を行い、それらの結果をもとに、当該地における生物多様性の豊かさを証明し、具体的な保全対策の道筋を明確にしていくことを目的とする。

## 事業の内容

ア 自生地調査事業：生物多様性ホットスポットである低地照葉樹林内において国内希少野生植物種及びその候補種となり得る植物種の出現する可能性の高い地域を選出し、プロット調査及びベルトトランセクト調査を実施した。

これまでの調査で明らかにされた国内希少野生植物種及び絶滅危惧種の自生地のモニタリング調査を実施した



イ 保全計画検討事業：「屋久島照葉樹林保護区域等検討会」を開催し、生息地等保護区の優先的な候補地の選定等を行うと共に希少種が多く自生し生物種多様性の高い貴重な生態系を保つ地域における保全に関する要望書を関係機関に提出する。

オオバンシラン

ウ 自生地保全事業：シカ防除柵の設置 食害が懸念される希少種（アオイガワラビ（国内希少種）、トゲハチジョウシダ（環境省絶滅危惧種ⅠB類）等）及び、植生回復・森林再生を目的としたシカ防除柵を設置した。

## 得られた成果

現在進行中の絶滅危惧種等の自生地での絶滅危惧植物調査やシカの防除柵の設置などの保全対策の実施が生物多様性の解明や自生地の保護・復元に関する確実な成果として表れている。

引き続き貴重種の生育地環境の保全、復元やシカ防除柵設置など保全対策を適材適所な対応において行う。要望書の提出以降、具体的な地域の選定や手法の検討が行われると期待される。今後その議論や決定に関して実現可能性を追求することに協力を惜しまず積極的な関与を行い、屋久島の貴重な宝であり世界の遺産として永続的な保全の政策が実現することを願う。このことを今後の増々重要な課題と認識し、明るい望みとして鋭意をもって努力したい。



シカ防除柵の設置